

町議会議員の定数に関する アンケート結果報告書

久万高原町議会

1. はじめに

このたび、議会議員の定数に関する特別委員会では、令和7年4月の町議会議員選挙に向けて、人口減少や高齢化の中「議会機能を維持するために必要な議員定数」「議員のなり手不足の解消」などについて、様々な議論を重ねて参りました。その取り組みの一環として、アンケート調査を実施させていただきましたところ、日頃から議会に対して感じておられるご意見を多くの皆様からお寄せいただきましたこと、心からお礼申し上げます。

今回の調査結果を参考にさせていただき、更なる議論を行った結果、次の町議会議員選挙から、定数を11名とすることが先の3月定例会で決定いたしましたので、アンケートの結果と共に報告させていただきます。

今回いただきました貴重なご意見を議員一同、真摯に受け止め、今後の議会や議員活動に最大限活かしていきたいと考えております。

今後とも久万高原町議会へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

久万高原町議会

2. 調査の方法

- ・調査地域 久万高原町全域
- ・調査方法 無記名によるアンケート用紙を各世帯に1枚配布
送付枚数 3,994枚 (うち宛所なし47枚)
- ・調査期間 令和5年12月～令和6年2月
- ・回答数 1,367枚
- ・回収率 34.6%

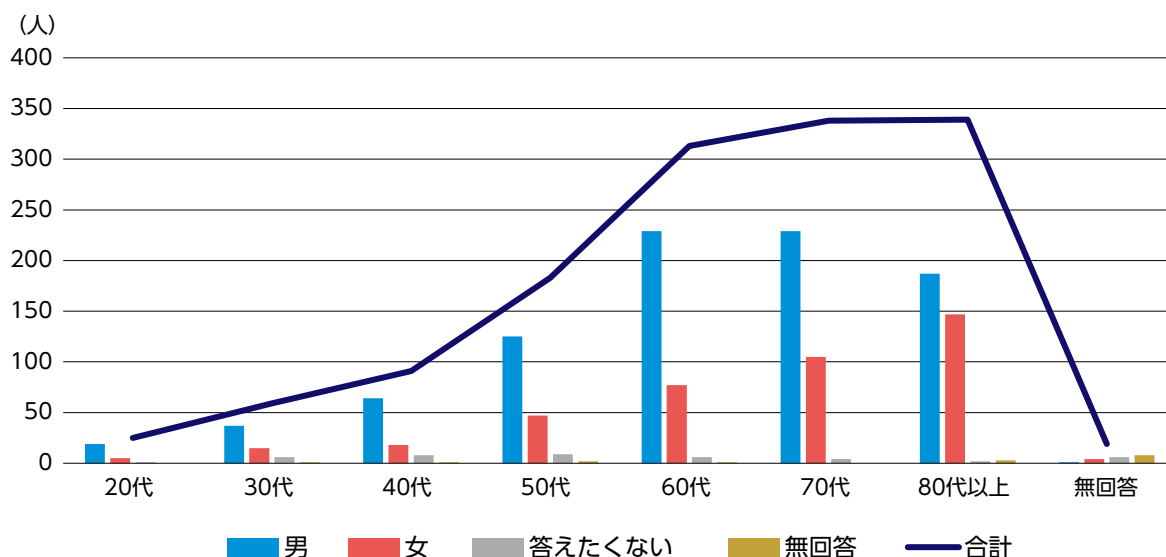


3. アンケート結果

回答者の内訳

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
1. 男	19	37	64	125	229	229	187	1	891
2. 女	5	15	18	47	77	105	147	4	418
3. 答えたくない	1	6	8	9	6	4	2	6	42
無回答	0	1	1	2	1	0	3	8	16
合計	25	59	91	183	313	338	339	19	1,367



- 回収率は34.6%となり、行政機関が行う他のアンケートと比べて、高い回収率となりました。
- アンケートにご記入いただいたのは、男性が65.2%、女性が30.6%となっており、男性の回答者が多く、答えたくない・無回答が合わせて4.2%となっています。
- アンケートに回答いただいた年代は、60代、70代、80代以上が、それぞれ300件を超えており、合わせると全体の72.4%を占めています。また年代が下がるほど回答数は少なくなっています。

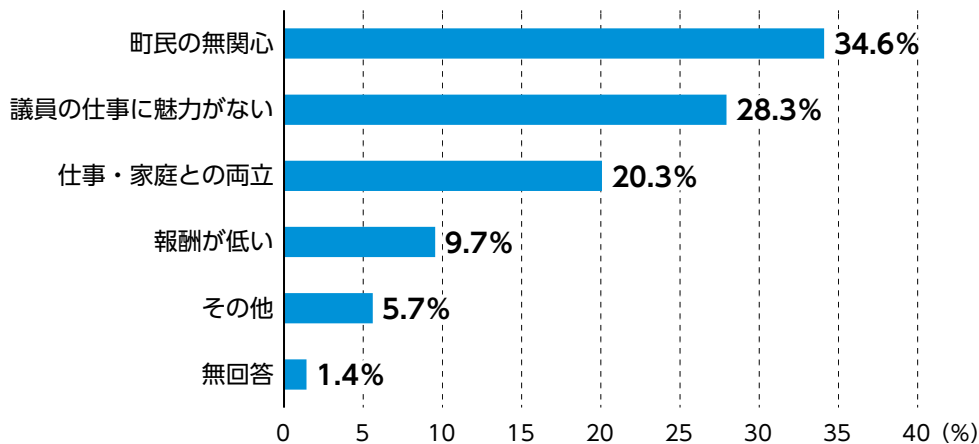
問3

地方議員のなり手不足が社会問題となっていますが、その理由は何だと思いませんか？

(〇2つまで)

議員のなり手不足の理由	件数	割合
1. 町民の無関心	768	34.6%
2. 議員の仕事に魅力がない	629	28.3%
3. 仕事・家庭との両立	452	20.3%
4. 報酬が低い	215	9.7%
5. その他	126	5.7%
無回答	32	1.4%

議員のなり手不足の理由



●なり手不足の理由としては、町民の無関心が34.6%、議員の仕事に魅力がないが28.3%、仕事・家庭との両立が20.3%となっており、合わせて83.2%となっています。一方で、報酬が低いという回答も9.7%ありました。

●議員のなり手不足について、主に次のようなご意見をいただきました。

「閉鎖的、保守的な議会運営に幻滅している」

「現職の年齢が高く、若い人の参画が難しい」

「縁故や地域のしがらみが根強く、強固な人間関係の中では、議員になるのに越えるべき障害が大きい」

「仕事の内容や存在意義が見えない」

「町民、地域からのプレッシャー」

「選挙がめんどろ」

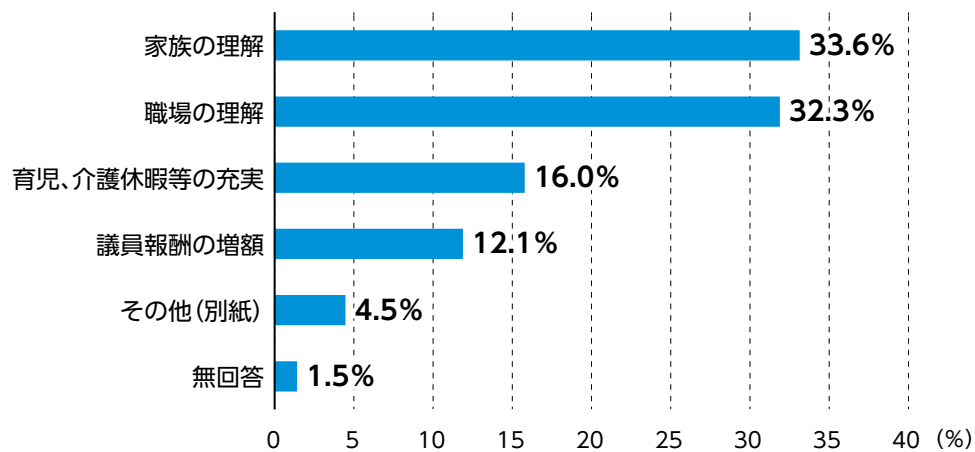
問4

子育て世代の方が議員になるためには 何が必要とと思いますか？

(〇2つまで)

子育て世代が議員になるためには	件数	割合
1. 家族の理解	792	33.6%
2. 職場の理解	762	32.3%
3. 育児、介護休暇等の充実	377	16.0%
4. 議員報酬の増額	284	12.1%
5. その他(別紙)	107	4.5%
無回答	34	1.5%

子育て世代の方が議員になるためには



●子育て世代の方が議員になるために必要なことは、家族の理解が33.6%、職場の理解が32.3%となっており、合わせて65.9%となっています。これに続いて、育児・介護休暇等の充実16.0%、議員報酬の増額12.1%となっています。

●子育て世代の方が議員になるために必要なことについて、主に次のようなご意見をいただきました。

「若年層が声を上げやすい空気づくり」

「議員の業務時間、内容の公表。兼業したい人の判断材料になるため」

「議員の魅力、やりがいの発信」

「子育て世代の親世代が現職なので、議員の若返りが必要」

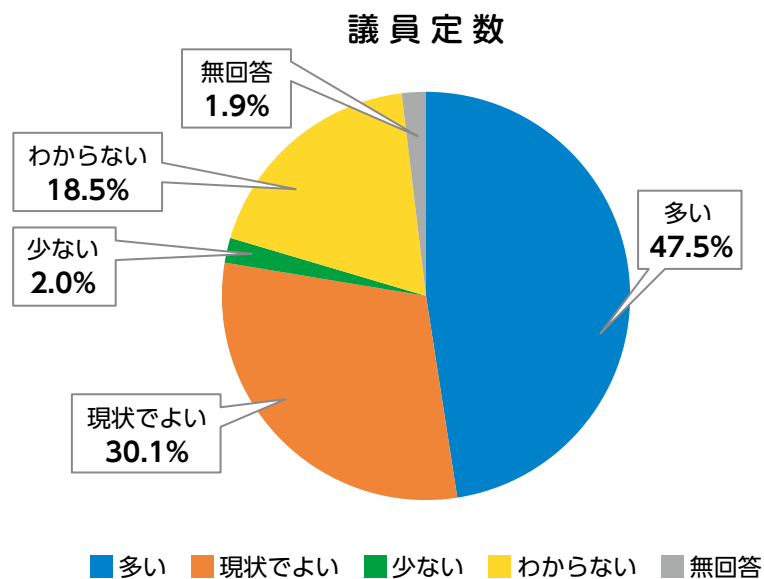
「そもそも年齢層の低い世代が議員になれない構造になっている」

「子育て世代の者が議員を兼ねるのは難しい。いずれかの実務に支障をきたす」

「議員間の理解」

問5 現在の議員定数（13人）についてどう思いますか？

議員定数	件数	割合
1. 多い	650	47.5%
2. 現状でよい	411	30.1%
3. 少ない	27	2.0%
4. わからない	253	18.5%
無回答	26	1.9%



●現在の議員定数（13人）については、多い47.5%、現状でよい30.1%で、現状以下と答えた方が77.6%となりました。一方、少ないと答えた方は2.0%であり、わからない、無回答が合わせて20.4%となっています。

●議員の定数13名について、主に次のようなご意見をいただきました。

多いと回答された方の主なご意見

「少数精鋭で本気で取り組める人だけでいい。何も変わらないのならば、こんな人数は『無駄』です」

「年齢制限を考えてもらいたい」

「何をしてるのかわからないし、多いとその分税金がかかる（議員報酬）」

「少数の支持でも当選してしまうから」

「議員の質を上げるためにも定数を減らして、選ばれて議員になってほしいと思うから」

「過疎が進んでいる久万高原町で議員定数13人はびっくりしました。多すぎでしょう」

「定数を減にして、報酬を上げるべき」

「人口減少により定数を減らすことで、議員報酬等の経費削減をすべきと思う」

「面積も広くて大変だが、人口や財政力を見てもう少し減らしても良いのではありませんか」

「わが町の人口減少に対して多いと思うのと、目立った活躍がない」

現状でよいと回答された方の主なご意見

- 「議論をする場なので、この数以下にするのはデメリットが大きいと思う」
- 「多いと思わないし、13人から減らすと町全体の民意が届かなくなることが心配」
- 「人口規模から考えると多いと思うが、公平な判断をするには必要かと考える」
- 「旧町村で最低1人は議員が必要」
- 「人口は急激に減少しているが、面積は変わらない。災害等の対策には現人数は必要と考える」
- 「少なすぎたら、町民の意見が反映されないと思うから」
- 「人口から見ると、これ以上は多すぎる。かといって11人に減らすと種々委員会活動に支障が出そうだし、議員さんも大変」
- 「削減は多様な意見の切り捨てになる」
- 「真面目に取り組めばそれくらいの仕事量はあると考える」

少ないと回答された方の主なご意見

- 「議会での少数の意見しか反映されないため」
- 「少人数では独裁体制を生むのでは？」
- 「議員が多い方が住民の意見が町政に反映するから」
- 「多くの意見をもって会議をしていただきたいから」

わからないと回答された方の主なご意見

- 「基準など評価する知識を持っていないからです」
- 「13人である理由を知らない」
- 「議員自身の意見を聞きたい」
- 「私の知識では、13人が適切かどうか分からないから」
- 「いろいろな意見や知識のある人がいた方が良いと思うが、現在の定数が妥当なのかどうかはイメージがわからない」
- 「議会内での役割分担、委員会構成のための人数がどれくらい必要なのか。各地区の声を吸い上げるためには、少なすぎても良くないと思うから」
- 「人数の問題だけでなく、いかに地域のことを気にかけているかが大事だと思います」
- 「議員の仕事について詳しく知らないため。またそれぞれの議員によって仕事量や取り組み方に差があると思うから」

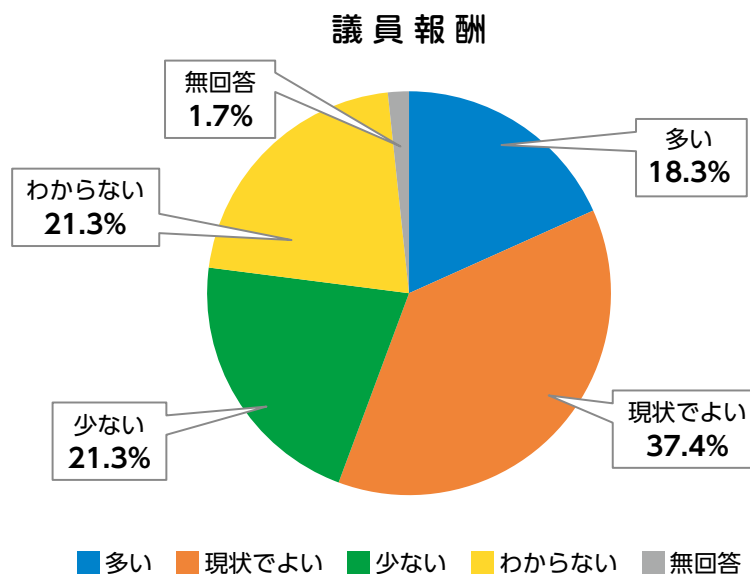


問6

現在の議員報酬（月額185,000円）について どう思いますか？

※議長・副議長を除く

議員報酬	件数	割合
1. 多い	250	18.3%
2. 現状でよい	511	37.4%
3. 少ない	292	21.3%
4. わからない	291	21.3%
無回答	23	1.7%



●現在の議員報酬（月額185,000円）について、多い18.3%、現状でよい37.4%となり、現状以下と答えた方が合わせて55.7%となる一方、少ないと答えた方は21.3%、わからない、無回答が合わせて23.0%となっています。

●議員の報酬について、主に次のようなご意見をいただきました。

月額報酬185,000円が多いと回答された方のご意見

「何をやっているのかわからない人ばかりで無駄になっている」

「町民の税金だから」

「議員は町民の代表、奉仕者である」

「給料185,000円以下の町民が少なくない中、多すぎだと思う」

「報酬に見合うだけの仕事をしているか、各自で判断すべき」

「年間の議員としての拘束時間に対して多いと思う」

「定額報酬でなく、出役日当にすべき」

「年金生活者から見たら十分です」

「平日頃より町政について考え行動するなら現状でもよいが、ただ議会に行き行って座るだけなら多すぎ」

月額報酬185,000円の現状でよいと回答された方のご意見

- 「これ以上大きくなれば、町民に負担感を与えるが、少なくなると、なり手の意欲が低下すると考えられるため」
- 「町の財政状況から考えて」
- 「フルタイムで議員職についているわけではない。他の仕事ができるから」
- 「(185,000円で少ないのなら) 議員定数を減らして議員報酬を上げるので良いのではないのでしょうか」
- 「町の規模相応かと思います」
- 「実働日数が分からないが、見えない出勤日数も考えれば現状でもOKかなと思う」
- 「ある程度ボランティア的な考えもないといけない仕事なので、多いとは思いますが、少ないとも思いません」
- 「昔から町会議員で飯は食えないとしたもの、副業でやれる範囲であると理解している」
- 「少ないと思うが、自主財源10%の現状では、ご辛抱願いたい」
- 「少ないとなり手が無い気がする」
- 「成果を上げることができていない(人口減少対策等)」
- 「非常勤であり、町民の所得も向上していないため」

月額報酬185,000円では少ないと回答された方のご意見

- 「若者はこの金額では生活できない(なろうと思わない)」
- 「松山市と同額とまでは言わないが、ある程度の報酬とし、議員としての仕事を全うしてほしい」
- 「人数を減らし、報酬を上げれば」
- 「仕事をしながら議員活動する必要があり、おのずと議員のなり手が限定されることになっている」
- 「報酬が少なすぎるため、年配の方しか議員になりたがらない」
- 「こんなんで子育て世代が生活できると思っているのがおかしい」
- 「定数を半分にし、報酬は倍増すればよい」
- 「定年後になるのであればそれでいいが、若手議員には、家族を養えるだけの報酬が必要だと思う」
- 「議員活動をしっかりしてもらうためには少なすぎる」
- 「社会人初任給レベルではどうも・・・」
- 「議員報酬のみで生活が成り立つようすべき」

月額報酬185,000円について、わからないと回答された方のご意見

- 「普段から何をしているのかわからないため、多いか少ないかわからない」
- 「月額としては少ないかなあとと思いますが、賞与や動くたびに報酬があるとなれば、全く違ってくるかなと思います」
- 「一般的な平均がどのくらいであるか、また個人による意識と活動により低いとも高いとも考えられる。本来であれば、もっと高い価値のある位置付けであってほしいと思う」

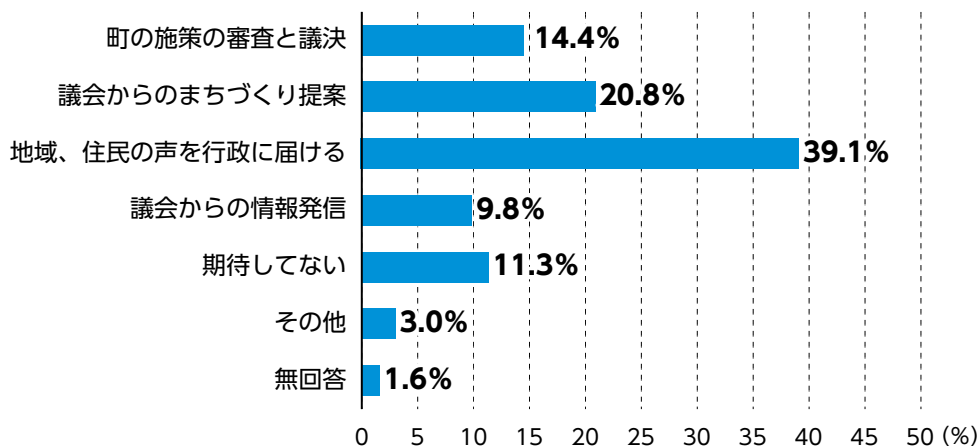
問7

町議会に期待することは何ですか？

(〇2つまで)

町議会に期待することは	件数	割合
1. 町の施策の審査と議決	330	14.4%
2. 議会からのまちづくり提案	479	20.8%
3. 地域、住民の声を行政に届ける	899	39.1%
4. 議会からの情報発信	225	9.8%
5. 期待していない	259	11.3%
6. その他	70	3.0%
無回答	36	1.6%

町議会に期待することは



●町議会に期待することとして、地域、住民の声を行政に届けるが39.1%、議会からのまちづくり提案が20.8%となり、合わせて59.9%となっています。一方では、期待していないが11.3%となっています。

●町議会に期待することについて、主に次のようなご意見をいただいています。

「女性が議員に立候補しやすい仕組みづくり」

「子育て世代の議員の増」

「行政と議会が両輪となって、久万高原町の今後のために活動してほしい」

「小さい町であり、また若い人の意見が届きにくい状況なので、このアンケートのように、町民からの意見をまとめて届けてくれるとありがたい」

「町民に寄り添った活動をしてほしい。上から目線でないことが求められる」

「もっと建設的な意見を出すべき」

「期待して動く議員がおるのか??？」

「行政批判でなく、是々非々で審議してほしい」

「高齢者は毎日に不安があり、生活しています。買い物、通院とか。ずっとこの町に住みたいので、安心して暮らせる町に」

「もっと町民の身近な問題解決策を。町民の収入になるような」

問8

その他、議会に対するご意見、ご要望があれば
ご記入ください。

(自由記述)

- その他、議会に対していただきました、ご意見、ご要望の中で、主なものを紹介させていただきます。

「予算等の関係や世間的には議員報酬の減額の声が大きいかとは思いますが、しかし、現状では13人中11人が男性。ほとんどが高齢であり、新たな動きを起こしにくいように感じます。女性や若年層、性的マイノリティの方でも立候補しやすい空気づくり。それらの声を取り入れるための議員枠の増大を強く希望します」

「議員ももちろん大切だと思うが、若者の職場、給料等が少なすぎる。育児等職場の理解が十分必要だ！このままだと町が寂れる」

「もっと新しいことに挑戦してほしい。時代に沿った考え方をしてほしい。昔は昔、今は今です。この久万高原町、若い人が外に出ていってしまう理由を本気で考えてほしい。自分たちの子供も今のままでは、久万高原町に残ってくれないと思う。農業だの、林業だの地場産業だけに拘らず、もっと他にも目を向けてほしい」

「まずは議会を正しく動かしていただきたい。議員のすべきことは町政を進めることで、質問を重ねることではありません。素人ながら、議員の方は“町政”を今一度考えてほしい。また議会が古く、我々の感性から逸脱している。仲間内だけの意見を反映させる議員は不要と感じる。乱筆乱文、失礼しました」

「正直、議員になってこの町を変えたいと熱い気持ちを持った人自体が少ないのだと感じる。(自分も含め) 町議会議員という仕事の魅力を知らない(わからない)人も多いと思う」

「議員の多くが、高齢化しており、若い世代の声が反映されるとは到底思えない。力のある昔から議員をしている方の存在も大きいと思うが、若い世代がもっと入らなければ、この町の変化は望めない。議員報酬を上げれば、議員のなり手が増えるとは思えないが、久万高原町議会に空気の入替えは必須」

「他所の意見が入りにくい、また、受け入れられにくい、風習のある町ですが、今は情報入手が誰でもできる時代です。情報の選択、正誤の判断をしなければなりません。せめて、議会からは正しい情報を発信していただかないと、誤った認識が広まります。そして若い世代を議会へ入れたいようなアンケートですが、実際には若い世代が入られても困ると思っておられる方が多いのではないのでしょうか。本当の意味での改善を求めます」

「高齢者と子育て世代の人口割合が違いすぎて、本当は人口対策が必要なのに、票を得ようとしたら高齢者寄りになる。人口増に対しての施策がおろそかになるので、本来は移住施策等に力を注がないといけないのに、今のアンバランスがずっと続いて町政がますます悪くなることしかない」

「低所得の者ばかり手厚くサポートされることに不満を感じています。働いている人ばかり損をする世の中では、誰も働きたくなくなってしまう。高齢者や低所得者や子供のサポートばかりでなく、すべての住民が元気に働き、楽しく暮らせる社会に」

「議会は町行政の監視役として機能する必要がありますが、両者とも同じ方向に向かい、今後来る人口減少社会へ向かっての対策を講じ、人口減少が止まる施策の推進にご尽力いただきたい」

「視野が狭く、大きなビジョンが持てない。行政も議会も、もっと若い人が真剣に将来を議論できる仕組み（場の設定）が必要だと感じる」

「職員の事務のあら探しばかりしているイメージ。協力してより良い方策に協力すべき。町民の代表として違和感がある」

「議会のネット中継をしたら、若い人も気軽に傍聴できて関心を持ってもらえるのでは？」

「久万高原町の人口減がどんどん進んでしまうことは、ある意味仕方ないと思うが、町として存続するために、どのような分野をどう維持していくか、もっと議論してもらいたい。教育、医療、介護の維持は町としてどのようにしていくか、分かりやすくビジョンを示してもらいたい（将来のことは分からないとしても、ビジョンは示せるはず）」

「議会だよりの発行は良いと思う。発信の場、機会を増やし、何をどう進めていくか、改善していくか、多くの思いをもって方向性を示していきながら、新しい試みも探っていき、未来に向け、多様な可能性から本町に沿ったより良い施策を、思いをもって見出し、実現して欲しい（もちろんそのために町民の意識を高めていく必要がある。）」

「賛成、反対意見もあって当然だと思うが、お互いの意見を尊重して検討できる議会にしてほしい。若手議員が活躍できる環境にしてほしい。そうならないと議員のなり手がなくなると思う」

「若い方が政治に興味を持てるよう、議員自らが地域のリーダーとなって改善してほしいと思います」

「今、小学校の先生不足が深刻な問題になっている。久万には少人数の学校がいくつかあり、そこを合併したら、人数の問題も少しは解消できると思う。地域に学校がなくなると、そこが衰退するという意見があるが、それが老害。未来ある子たちに同学年の分かり合える友達ができなければ、何よりそれは悲しいこと。子供の未来のために、大人が我慢も必要と考えます。遠方からの通学問題もあると思うので、何とかうまくいく方法を議論してほしいです。反対意見も多いと思いますが・・・」

「議員の皆さんの熱心な活動で、町の事案がスムーズに運営できていると思いますので、感謝しています。町民の声を行政（町）や県政、国政に（可能な限り）届けてくださいますようお願いいたします」

「議員選挙前などに公開討論会を開催していただきたい。議員の所信表明や公約、それらについて住民からの質問などを含めた内容」

「町職員へのあたりが強いのでは。職員が委縮してやる気を失ったのでは、町おこしに逆効果だ。一緒になって町づくりを考えてほしい」

「ケーブルテレビまたはYouTubeで、アーカイブでいいので本議会を見られるようにしてほしい。議会だよりはとても読みやすいです。これからも楽しみにしています」

「これからの久万高原町の方向はどうすべきか分かりませんが、町長、行政、議会のなれ合いは困るが、足の引っ張り合いでも困る。『みんなでこの町で住んでいこう！』という一致団結が感じられない。『過疎を何とかしよう！』よりも『今いる人たちで何とかしよう！』が大切な気がするので、そう引っ張ってってもらいたい」

「町民の意見や提言を聞く機会をあまり持っていないのでは。問3・4・6に関連するが、町民の大多数の者は、議員がどのような仕事をしているか、どのくらいしているかをわかっていない。もっと周知して、理解されるように務めるべき。そうすることで、なり手不足解消にもつながるのでは。耳あたりの良い流行の『フレーズ』や『事業』に惑わされることなく、じっくり本町の現状を知り、将来像を描いてほしい」

「今はインターネットで全国の情報が入る。議会だより等も他町議会は誰が何について賛成で反対なのか、議会について発信しているし、住民の声（意見）を載せているが、久万高原町議会の議会だよりは、反対意見ばかりが目立つ！議員の発言も気を付けてほしいときがある」

「議会だよりを読んで、重箱の隅を・・・みたいを感じる。もっと町政に対して、建設的な議会であってほしい。もちろん、審査、大事ですが、行政を回す感じに読めない。議員報酬、片手間なら妥当、しっかり仕事するなら定数半分、報酬倍増、少数精鋭で覚悟を持って、議員活動できる体制を考えましょう。せっかくの議場カメラ、YouTube配信、見逃し配信してください。中途半端な議会発信より、町民へオープン議会してください。期待してます」

「年々、住民数も減少しており将来の久万高原町そのものの存続も危ぶまれる恐れもあります。慣例を守り続けることも一理あると思いますが、時代の移り変わり、いろいろな場面で進歩があり変化もあります。厳しい時代、揚げ足取り（そりゃ、正すべきところもありますが）に力を入れるのではなく、実現可能な政策を期待したい」

「議員の皆さん、人口減で町の施策も厳しくなりますが、皆さんお力を結集し、魅力ある久万高原町にさせていただくよう尽力ください。私も協力いたします」

「議員の職務が見えないために、住民の理解が得られにくく、議員批判もあるのではないかと。報酬も多くなければ、議員のなり手もないのも理解できる。町の将来を考えた意見を出せない議員は、とりあえず出された提案、実施されている事業・業務について多くの批判を重ねることで、議員業務をこなしていると思っているのではないかと。大間違いである。議員さんには事務職のような仕事をしてほしいとは思わないが、地域のニーズを把握し、応えるよう行政等に働きかけると共に、町の将来を考えたポジティブな提案をしてほしい。住民個人ではできないことを代わって取り組んでくれるのが議員の仕事の1つだと思う」

「住民にとって身近であるべき議会が、住民に理解されず関心も持たれない状況は、地方自治・住民自治の根幹に関わる深刻な問題だと、議員一人一人が心得よ」

「もっと久万高原町の人のためになる話し合いをしてほしい。ほとんど同じ人が質問しているように思われる。他の議員も質問してほしい」

「少子高齢化がどんどん進み、町の予算も縮小傾向になっていくと予想される。少ない予算をどれだけ有効に活用していくか、スクラップ&ビルドを議会と行政が今よりも一層議論をすべき時期に来ている。町の将来を決める議会においては、現状をしっかりと分析して、住民が住み続けられる町づくりの施策等を考える場にしてほしい」

「住民が自らの問題として政策課題に向き合う機会を設けることが、住民が主体的に議会との関わりを持つことにつながるものと考えられ、議会への関心が低い住民に対して、議会からより主体的に働きかけを行い、議場外での住民参加の取り組みを進めるなど、議会と住民との意思疎通を充実させていく必要がある。『議会モニター』制度、『政策サポーター』制度の検討。公職選挙法の改正により選挙権が満18歳以上に引き下げられたので、議員が講師となって出前講座を実施し、議員と高校生による意見交換会の実施」

「住民の議会に対する関心・理解がないと良い議員は選ばれない。定数と報酬に意味はない。定数を減らす、報酬を上げたところでレベルの高い議員は育たない。全国的にも政治に無関心な国民が増えている実態を踏まえて、議員は住民とふれあい、意見交換、懇談会等を積極的に実施すべきである。身近な声を伝える場がなく、議員の思いなど聞けない。幅広く意見交換のできる場を設けてほしい。久万高原町は高齢化と人口減少が著しい。住民も議会・行政も真摯に危機感を持たなければいけない。議員も大変だと思うが、本当に頑張っていたきたい」

「町の将来を憂っています。転がる石のように衰退していく産業・文化・地域の姿を呆然とあきらめながらみつめている。誰がこの現実を押しとどめ、夢と希望を与えてくれるのか。それは議員さんであり、町長であるわけです。この町に希望の光をください。地域の人口を増やす。新しい産業を興す。地域コミュニティーを豊かにする。住みたい安心して暮らせる町にする。方策はいくらでもある。若者たちは、実によく見、よく知っている。『この町には、期待できない』と。だとしたら、もっともっと若者と話し、地域住民と語り、与えられた職責を全うすべきです。がむしゃらに、てらいもなく、堂々と。この町はあなたたちにかかっているのだから（町長はもちろんだが）」

「北欧では、サラリーマン等のために議会を夜に行うところがあると聞くので検討してはどうか」

「議会広報など楽しみにしていますが、この町の将来を各々の議員さんがどう思い、どう努力しているのかを知りたい。この町は、もっと発展していく素地があると思う。若者の声を真剣に聞き、実現していく役目を果たしてほしい。町の魅力はそこにしか芽吹かない。若者の不満は、今沸騰点に達している。議員さん一人一人の知恵や見識などたかが知れている。町民から学び、町民とともにこの町をよくする。それをしない議員は早々に身を引くべきです。それは町長にも言えることです」

「13人中30%（4名ほど）は、子育て世代や若い世代が議会に入る必要がある。長いスパンで未来を考える。議員や町職員のWebアンケートを採る（本音の意見が出せるための工夫です）」

「せめて年1回、各町内会に、2名程度の議員さんが参加して各組の意見を聞いてほしい。町づくりについていろいろな意見、問題が聞けると思う。全町の各組だから議員さんも大変だと思いますが、ぜひお願いいたします」

「1. 住民の議会に対する理解の促進 2. 住民と議会との意思疎通 3. 住民の声を議会に反映させる 4. 議会の構成に多様性を欠いていないか など」

「・当アンケートについて、委員会で検討されているようですが、その内容があればよかった。（各議員のお考えを後日、住民に示してほしいが）また定数や報酬が多いとか少ないとかいう2項は、対立の問題ではないような気がします。（様々に検討して最後に出てくる問題）

・まず若い人たちが参加しやすい環境づくりを……。古い入れ物ではいけないので。例えば若者枠、女性枠、定年制等など様々な組み合わせ。また議会運営の簡素化。国や大都市のような形でなく、小さな議会運営に見直しを。土日や夜間開催は？とにかく若い人たちの生活スタイルに合った制度（入れ物）づくりが必要では。

・なり手不足については、上記の理由が大きいと思いますが、やはり政治への不信感が強いのでは。今の国政状況を見れば明らかだと思います。あまり信用されていないようなので、いずれにしましても、これからの社会で長く生きていく子供や若者たちの豊かな未来を担保するのは、選ばれた議会人の責務ではないでしょうか。議会人は初心にかえって、住民のために、今、何をなすべきか熟考することも。（委員会には敬意を表します。）

・最後に厳しいかもしれませんが、“身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあり”のことわざであるとおり、議会人が先頭を切って改革すれば、少々の荒療治でも住民は納得するのでは。住民に荷を押し付けてはいけません。まずは自分たちのお考えを表明すべきでは。自分たちのことは自分たちで始末するくらいの強い気持ちでご検討ください」



発行／久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188

発行責任者／町議会議長 玉井 春鬼

編集／議会議員の定数に関する特別委員会
TEL 0892 (21) 0134
FAX 0892 (21) 0134

印刷／佐川印刷株式会社